



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 **な んと**



NO. 2598

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサクルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影 写真同好会 高野実会員



「朝焼け空が真っ赤に…」

女郎花は「オミナエシ科の多年草のこと」の意味として用いられています。山野に自生していて、夏・秋に黄色の小花をたくさん咲かせ、さらに女郎花の根は乾かして利尿剤に用いられています。女郎花は秋の七草のひとつで、

秋の七草は
・萩 (はぎ) ・薄 (すすき)
・葛 (くず) ・撫子 (なでしこ)
・女郎花 (おみなえし)
・藤袴 (ふじばかま)
・桔梗 (ききょう)
の七つです。



女郎花 (おみなえし)

第2659例会 令和5年5月16日(火) 晴れ 13℃

◆点鐘 06:00 古瀬喜八郎会長
◆進行 森雄一社会奉仕委員長

◆会長の時間 古瀬喜八郎会長

皆さん、朝早くからお集まり下さいましてありがとうございます。



この苗植え活動は、1987年に早朝、小矢部河川敷の清掃奉仕に始まり、1993-94年桜ヶ池に桜の植樹をし、ロータリーの桜通りとして、桜の木の手入れ、下草刈り清掃などへと行ってきました。2005年に県絶滅危惧種Ⅱ類にされているリンドウ、そしてオミナエシを福野高校農業科や、小矢部園芸高校のバイオ技術で増やした苗を、継続して植え付けしてきました。今年で18年目になります。先年植えたものも、根付いているようで、今日は100株余りを小矢部園芸高校さんより用意していただいた苗を植えてつけて戴きます。よろしくお願いします。



立派に育ち趣のあるロータリー桜回ロード



小矢部園芸高校で増殖されたオミナエシの苗

◆出席報告

木村伊徳副委員長

会員数	5月16日出席率	4月18日(修正)
43 (免除1)	58.13% (出25)	81.39% (出35 内マーク2)



インタビュに答える古瀬会長

小矢部園芸高校が自生種から培養した苗102株を用意。メンバー25人がシャベルを揃って丁寧に植えた。古瀬会長は、今後も植栽活動を続けたらいいと話した。



■オミナエシ植える
南砺ロータリークラブは、16日、南砺市城端地域の桜ヶ池公園に秋の七草の一つオミナエシを植えた。写真。オミナエシは県内で絶滅危惧Ⅱ類になっており、桜ヶ池周辺も激減。昔ながらの景観を回復させるため、オミナエシを植える。写真。

本日のプログラム 5月23日(火) 第2660回例会
《55周年準備例会》各部門担当進捗状況報告
担当 高野 実55周年記念実行委員長

次回の予定 5月30日(火) 第2661回例会
《青少年セミナー》卓 話
担当 安居利浩青少年奉仕委員長

四つのテスト
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

「桜ヶ池堤防下の斜面にオミナエシ植栽」



5月16日午前6時から、桜ヶ池土堤の遊歩道周辺にあるオミナエシの看板前に集まり社会奉仕活動に25名の会員が参加して行われた。今年は、オミナエシの植栽作業を行った。

感染も弱くなり、5月よりコロナのマスクは自由となり、空気が綺麗なところでもあり、つけてる人は4,5人だった。ロータリージャンパーで身を固めて作業に臨んだ。作業は2005年からの継続行事ともあって、もう手慣れたもので6時15分頃には殆ど終わっていた。オミナエシの苗100本あまりは小矢部園芸高校の先生や生徒さん達が、丹精こめて育苗されたもので、それを私達は池の堤防下の遊歩道の斜面に愛情を込めて植え込んだ。毎年のことであるが今年の苗は間違いなく立派に育つと信じている。森雄一委員長＝写真＝の日頃の行いが良く、よく晴れてくれた。

…桜ヶ池は昭和29年に築造された人造湖です。昭和57年、城端町町村合併30周年記念に周囲3kmの沿道と公園に1000本の桜を植樹しました。その中にロータリークラブの桜として55本が仲間入りし、それから41年が過ぎ、今では見事な花を咲かせてくれます。その桜の幹に、それぞれのスポンサーの名札を付けてあったのですが、名札が傷んだり、外れたりしたため、今では数本にのみにしかついていないようです。



だいぶん根付いてきました



オミナエシの苗を植える参加者
〓南砺市桜ヶ池公園

オミナエシ植栽
南砺RC
南砺ロータリークラブ
(RC)は16日、南砺市桜ヶ池公園で、里山の自然環境保全に向けてオミナエシの苗102株を植える奉仕活動を行った。
植栽は2013年から、小矢部園芸高の生徒が公園内の種から育てた苗を使って続けられており、夏から秋にかけて黄色い花が見頃となる。作業には古瀬喜八郎会長ら25人が参加し、散策路沿いの斜面で汗を流した。今年度に計画していたササユリの植栽は、来年度に行うこととなった。